

講演会とシンポジウム

夏目漱石と青春

平成26年

12月14日 日

14:00 開演 (13:15 開場)

早稲田大学
大隈記念講堂
大講堂 〈新宿区西早稲田 1-6-1〉

入場無料

Program

第1部

平成26年度新宿区夏目漱石コンクール
優秀作品表彰式

第2部

講演「漱石と私」
講師：夏川草介（作家・医師）

第3部

シンポジウム
「もっと若者に漱石を！」
パネリスト：夏川草介・森まゆみ（作家・地域文化研究者）
香日ゆら（漫画家）・新宿区長
コーディネーター：牧村健一郎（朝日新聞記者）



ワガハイモ シツテイル 漱石ノ セイシュン

申し込み方法

催し物名（「12月漱石イベント」）、郵便番号、住所、氏名（フリガナ）、電話番号、希望人数（応募者含め最大2名まで）を記入し、はがきまたはFAXで下記までお送りください。

応募締め切り 平成26年11月4日（火）必着

- はがきは往復はがきでなくて結構です ● 小学生までは保護者同伴をお願いします（2名希望と記入）
- 応募者多数の場合は、抽選で1,000名程度ご招待します。抽選結果は、入場券の発送（11月中旬）をもって代えさせていただきます（当選者のみお知らせ）。
- 応募に関する個人情報は、主催者が適切に管理し、本イベントにのみ利用します。

申し込み先
問い合わせ先

新宿区地域文化部 文化観光課 文化資源係

〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1 本庁舎1階

電話 03(5273)4126 FAX 03(3209)1500

Access



▶ 新宿区公式 HP <http://www.city.shinjuku.lg.jp/>

主催

新宿区
SHINJUKU CITY

共催

朝日新聞社
早稲田大学

第1部

平成26年度 新宿区夏目漱石コンクール 優秀作品表彰式

「猫になって描いてみよう!

～わがはいはネコである～」(小学生対象)

「わたしの漱石、わたしの一行」(中高生対象)

全国から応募された作品から優秀作品を紹介し表彰します。

【講評】審査委員長 半藤 一利 (作家)

昭和5年(1930)東京都生まれ。東京大学文学部卒。文藝春秋に入社し、「週刊文春」「文藝春秋」編集長、専務取締役、顧問などを歴任。『日本のいちばん長い日』『日露戦争史』『幕末史』など著書多数。『漱石先生ぞ、もし』で第12回新田次郎文学賞、『ノモンハンの夏』で第7回山本七平賞、『昭和史』で毎日出版文化賞特別賞を受賞。



第2部

講演「漱石と私」

【講師】夏川 草介 (作家・医師)

ベストセラー小説『神様のカルテ』の著者・夏川草介さんに、大好きな作家・夏目漱石の魅力を語っていただきます。また地域医療の最前線に従事する医師として、漱石の時代も現代も等しい、人の命の尊さについて考えます。



Profile

昭和53年(1978)大阪府生まれ。信州大学医学部卒。医師として長野県内の病院に勤務するかたわら、平成21年に小説『神様のカルテ』で作家デビュー。同作は、第10回小学館文庫小説賞、第7回本屋大賞(第2位)を受賞し、ベストセラーになった。また続編を含め2度にわたり映画化された。ペンネームの夏川の夏は夏目から、草介の草は「草枕」からとった。

第3部

シンポジウム「もっと若者に漱石を!」

もっと若い世代に漱石を読んでもらいたい。第2部の講師・夏川草介さんに加え、人気の下町エリア「谷根千(谷中・根津・千駄木)」研究家でもある作家の森まゆみさんや、漱石と門下生を四コマ漫画で描く漫画家の香日ゆらさんにご意見を伺います。

パネリスト

◆夏川 草介

◆香日 ゆら
(漫画家)

昭和52年(1977)青森県生まれ。趣味で漱石に関する漫画を描いていたところ、出版社の目にとまり連載化。著書に漱石と門下生を描いた漫画『先生と僕～夏目漱石を囲む人々～』(全4巻)や『漱石とはずがたり』がある。



◆森 まゆみ

(作家・地域文化研究者)

昭和29年(1954)東京都文京区生まれ。早稲田大学政経学部卒。出版社編集者を経て、昭和59年に地域雑誌「谷中・根津・千駄木」を創刊し、谷根千ブームのきっかけを作った。著書に『鴉外の坂』『青鞥』の冒険一女が集まって雑誌をつくるということ』など。



◆新宿区長

コーディネーター

牧村 健一郎
(朝日新聞記者)

昭和26年(1951)神奈川県生まれ。早稲田大学政経学部卒。朝日新聞社入社後、校閲部、アエラ編集部、学芸部を経て、現在は文化くらし報道部be編集部。著書に『新聞記者夏目漱石』『旅する漱石先生』など。



©Yura Kouhi 2014

(仮称)「漱石山房」記念館について

新宿区は夏目漱石が生まれ育ち、その生涯を閉じたまちです。

区では漱石生誕150周年の平成29年(2017)2月開館を目標に、(仮称)「漱石山房」記念館の整備を進めています。

記念施設整備基金について ◆新宿区では、記念館の整備に多くの方々のご参画をいただきたいと考え、「夏目漱石記念施設整備基金」を設置、平成25年7月から寄付の募集を開始し、約4,860万円(平成26年9月22日現在)のご寄付をいただいています。ご厚志をお寄せいただきました皆さまに心より御礼申し上げます。引き続き、皆さまの温かいご支援・ご協力をお願いいたします。基金への寄付方法など詳しいことは、新宿区文化観光課文化資源係まで。



参加申し込み方法

●FAXで

フリガナ	希望人数	○を付けてください	1名 ・ 2名
氏名	電話番号		
住所			

FAX番号

03-3209-1500

※切り取らずにこのまま送信してください。

●はがきで

- ①催し物名【12月漱石イベント】 ②住所(郵便番号) ③氏名(フリガナ)
④電話番号 ⑤希望人数(応募者本人を含め、最大2名まで)

を記入し、下記宛先までお送りください。

〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1 新宿区地域文化部文化観光課 宛

申込期間

平成26年11月4日(火)必着

募集案内は「広報しんじゅく」や区ホームページにも掲載いたします。

※応募多数の場合は抽選となります。(当選者のみお知らせ)

※受付の順番は抽選に一切関係ありません。